

# ふるさと歴史アラカルト

## 朝鮮通信使とカルビ

朝鮮通信使とは、豊臣秀吉が朝鮮半島へ攻め込んだ「文禄・慶長の役」の後、江戸幕府の徳川家康の要請により、両国の国交回復と友好的な外交の象徴として、朝鮮から日本へ訪れた使節団のことです。慶長12（1607）年から文化8（1811）年の間に12回の使節団が日本を訪れ、九州から江戸までの道のりを400〜500人もの大使節団が通りました。その際には、各地の諸大名による接待が行われるとともに、地域の人々との文化交流が行われています。

毛利家の萩藩は、赤間関（現在の下関市）と上関（現在の上関町）での接待を担当し、そのうち上関については、萩藩の命令によって、領外でありながら岩国藩が担当していました。費用は萩藩が負担していたものの、準備については岩国藩の責任は大きく、上関の御茶屋（もてなす場所）の部屋の割り振りや、接待に必要な備品、お膳の準備などに追われていたことが岩国徴古館に残されている資料から分かって

います。

その中には、朝鮮通信使をもてなす際に使用する食材などの参考として、朝鮮半島でどのような食べ物が食されているかを事前に調べたものである『朝鮮人好物附之写』という面白い資料もあります。そこには「肋（アバラ也）。彼国にてカルビというて賞味する物なり。長さ三寸程ずつに切り、（中略）油、しょうゆにてよく炙りすむ（中略）大人小人によらず賞味するなり」とあり、この頃から朝鮮半島ではカルビが好まれていたことが分かります。カルビのほかにも「彼国都鄙上下共に好物（国中の人々が好む）」ものとして沈菜（キムチ）も記されています。

現在、日本で当たり前のように食べられているカルビやキムチですが、江戸時代の人々にとっては、まだまだ未知の食べ物だったようです。

▶ 下にカルビと記している



### いわくにちようこかん 岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452  
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)



▶ 朝鮮人好物附之写

※正式には岩国藩の成立は慶応4（1868）年（明治元年）

## 岩国市 人口・世帯

人口 138,921人【前月比 - 750人】 男性 65,801人 女性 73,120人

世帯 66,234世帯【前月比 - 54世帯】 ※外国人人口を含む（平成28年4月1日現在）

交通事故発生件数 3月分事故件数 44件(111件) 死者数 0人(0人) 傷者数 67人(138人)

※高速道路発生分を除く

※（ ）内は平成28年累計

### 広報テレホン

休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。テレホンサービス ☎231234

### 目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、秘書広報課広報班へ ☎295016 FAX213337